



# あまぬまだより



<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumas>

杉並区立天沼小学校

## ようこそ、天沼美術館へ!

生活指導主幹教諭(図工専科) 竹内明子

開校五周年を迎えた今年度一。

その記念すべき節目の年に、天沼小学校として2回目となる展覧会が、2月8日(金)、9日(土)に開催されます。テーマは「～感じよう・伝えよう 私のイメージ～」。新校舎での開催は初となるため、どのような作品をどのような展示方法で皆様に楽しんでいただくか、年度当初より企画・展覧会委員会を重ね、検討してまいりました。当日は、子どものイメージ輝く作品や、「天沼美術館」としての雰囲気全体を隅から隅まで味わっていただければと思います。会場はアリーナとエントランスを含む、地階～2階となります。

では、「展覧会」をより楽しむための視点をいくつかお話しいたします。

子どもの作品を鑑賞する際、ご家族としてはまずその出来栄に注目するかと思います。最も大切なのは作品に込められた子どもの想いを読みとることだと考えます。「この子はどんなふうにか、工夫し、ここまで完成させたのだろうか。」という視点です。

天沼小の子どもたちは、この展覧会のために毎回の図工の授業を積み上げて制作してきました。作品の完成までの過程は、一人一人違います。例えば、最初から最後まで自分の想いや工夫をうまく表現でき大満足という場合もあれば、失敗し途中でくじけそうになった児童もいます。中には、思い通りにいかなかった形や色を、新たな工夫で満足のいく作品に変身させることができたものも…。いずれも、一生懸命に取り組み、さまざまな心が込められているのです。なんと素晴らしいことではありませんか!

大切なのは、子ども一人一人の制作に対する意欲や、創りたいもののイメージを考える過程、完成させるまでの工夫や失敗、努力です。作品からそれらを読み取るからこそが、展覧会を楽しむポイントとなるでしょう。しかし、すべてが目に見えやすいものではありません。作品についてお子さんと会話をすることで読み取れることもあります。失敗成功、出来栄に

かかわらず、子どもたちの想いを感じ取ってください。

ところで、生きるうえで、そして将来社会人として働くうえで、「ものを創る工夫や発想力」、「先を見通す設計力」はいろいろな場面においてなくてはならない要素であり、感受性の豊かな子どものころに積み重ねて鍛えておかなばならない力だと、私は常々考えながら授業を行っています。図画工作という教科は、その力を育てる役割を担う教科の一つだと思うからです。

そして、いわゆる「美術」そのものも重要です。私たちの生活の中に、およそ美術に関係していないものはありません。普段使っている「もの」のデザインそのものが「美術」だと考えてみてください。数あるデザインの中から暮らしに必要な食器や雑貨ひとつを選ぶにしても、その人のセンスや好みがかかわります。好きなフォルムや好きな色のある生活は、精神的豊かさを日常にもたらす訳ですから、美術という楽しみを忘れずにいけば人生の潤いにつながることでしょう。

そういえば、先の震災の際に被災地に仮設された生活用品販売所で、当初、簡易的なものだったプレハブの外壁に、後に可愛らしい装飾が施されたというケースがありました。それは、ちょっとした美術的要素がその場を活性化させ、人々を明るくさせたり元気づけたりする力をもっていることの証でしょう。

展覧会当日は、天沼小の子どもたち全員の傑作が集結し、一人一人の作品のよさがパワーとなってより広がります。作品の一つ一つに込められたメッセージに時間をかけて向き合い、ゆっくりとご鑑賞ください。

ご家庭で、地域の皆さんで、力作を前にしてたくさんの会話をふくらませていただけることを願っています。



### ..... 今月の目標 .....

#### 生活

寒さに負けず  
元気よく生活しましょう

#### 保健

風邪を予防しましょう

#### 給食

食事のマナーをきちんと  
身につけましょう



## 2月の行事予定

日	曜	行事予定	
1	金	かけあし高 5時間授業(1~5) 茶道(2)	SC
2	土		
3	日		
4	月	全校朝会 委員会 お話会(4)	
5	火	かけあし低 お話会(3) ハピスタ	SC
6	水	水曜特別時程	
7	木	読書 5時間授業	
8	金	かけあし高 授業公開 展覧会(18:00閉)	SC
9	土	特別時程 授業公開 展覧会(15:00閉場) 給食なし	
10	日		
11	月	建国記念の日	
12	火	作品搬出 3校合同百人一首大会(6) ハピスタ	SC
13	水	読書	
14	木	児童集会 お別れ遠足(こ)	
15	金	かけあし高 社会科見学(5) お話会(2)	SC
16	土		
17	日		
18	月	全校朝会 クラブ活動(3年見学) 読書週間始	
19	火	かけあし低 新1年保護者会14:30~	SC
20	水	読書 たてわり班遊び(昼)	
21	木	クラブ発表(朝)	
22	金	かけあし高	SC
23	土		
24	日		
25	月	健康朝会 クラブ活動(最終)	
26	火	かけあし低 4時間授業(2年1組は5時間)	
27	水	たてわり班活動(朝) 4時間授業 避難訓練(下校時)	
28	木	音楽集会 4時間授業 代表委員会	
3/1	金	かけあし高 6年生を送る会 保護者会(123こ) 読書週間終	SC
2	土	音楽教室発表会	

※SCはスクールカウンセラーの来校日



## 学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介しています

### ◆プロジェクトリーダーの役割

学校支援本部には、現在15のプロジェクト(PJ)があり、それぞれにPJリーダーがいます。リーダーの役割は、いわば学校と支援本部とのパイプ役です。授業支援等に当たっては、担当の先生と綿密に内容を確認します。それを支援して下さる講師や支援本部の登録メンバーに連絡して授業当日に備えます。つまり、先生方がどのような目的でどのような支援を求めているのかを正しく理解して、わかりやすく支援者に伝えるのがPJリーダーの大切な役割になります。

難しいことのように聞こえるかもしれませんが、日頃の活動を通して何度か先生方と話をするうちに、いつのまにか自然にコミュニケーションがとれるようになっていきます。

学期に一度のPJリーダー会で、他のプロジェクトの活動内容を知ること大切です。支援本部全体がどのように学校にかかわっているかが見えてくるからです。

子どもを参加させながら、また、お手伝いに参加しながら、ぜひ一度、学校支援本部のリーダーとも話をしてみてください。

## 学校運営協議会コーナー

### 「コミュニティポスト」の設置

学校運営協議会は、ほぼ月に1回のペースで会議を行っています。天沼小学校の教育活動が、子どもたちにとってよりよいものになるように、活発な話し合いをするとともに、実践につなげられるように努力をしています。

このたび、保護者・地域の皆さんのご意見等をより広くお聞かせいただきたいと考え、「コミュニティポスト」を設置することにしました。場所は、正門の掲示板の近くです。

天沼小学校の学校運営に対して、何かご意見・ご感想のある方は、ぜひご利用ください。

なお、ご投書の際は、必ずご記名ください。お返事をしたいと考えますので、連絡先の記載もお願いいたします。ご意見をもとに、皆さんとともに考えていく学校運営協議会を目指したいと思います。

## たくましい天沼の子の育成に向けて

研究主任 鳥橋 修

天沼小学校では今年度「豊かな心をもち、自ら健康づくりに励む児童の育成」を主題として、「運動分科会」「健康分科会」「体育的活動分科会」の3つの分科会を立ち上げ、本年度の校内研究を進めてきました。

運動分科会では、主に体育科の研究授業に取り組みました。「体づくり運動」領域を中心に運動の楽しさや喜びとは何かを調査したうえで、運動の楽しさを味わえる手立てを考え、運動に意欲的に取り組む児童の育成に取り組みました。

健康分科会では、保健・食育の授業を通して、児童が健康の大切さや、自己の課題に気付き、健康に生き生きと生活することを目指してきました。また、日常の給食指導や安全指導についても特別活動や各教科等の中で考える機会を設けました。

体育的活動分科会では、朝の時間や休み時間等を活用して、児童の運動の日常化を図り、運動を親しむことへの意識を高めてきました。

今年度の研究を通して、児童が仲間とともに学び合い、励まし合うことで、自己の課題に気付く姿が多く見られました。また、日々の生活を見直したり、運動に意欲的に取り組んだりする意識も高まってきました。一方、教える側の教師としては、常に子どもの側に立って学習を進めていくことが重要であると実感しました。場面に応じた指導の在り方を追及すること、より効果的な評価の方法等を検討していくことが今後の課題です。これからも、たくましい天沼の子の育成に向けて、家庭・地域の皆様と連携を図りつつ、取り組んでいきたいと思ひます。

### 校 内 研 究 体づくり心食体 No.7

#### 【研究授業報告】 1年 体づくり運動

1年2組担任 平林 靖規

現在、子どもの体力に関する課題として、「児童の経験する動きの種類減少」と「積極的に運動する子とそうでない子の二極化」が指摘されています。

このことを踏まえて、12月5日に行った体づくり運動の研究授業では、楽しく体を動かしながら多様な動きを経験させるために「関わり合い」と「ゲーム性」を取り入れました。具体的には、声をかけあって相手の動きとタイミングを合わせながら全身を使って行うジャンケン遊びや、ボールを使った的当て遊びを工夫し、ペアやグループで取り組ませました。

小学校の体育学習で身に付けた「できる」、「楽しい」という経験が動機づけとなり、生涯にわたる運動につながることも期待できます。これからも子どもが体を動かすことが好きになるような工夫を常に考え、実践を重ねてまいります。

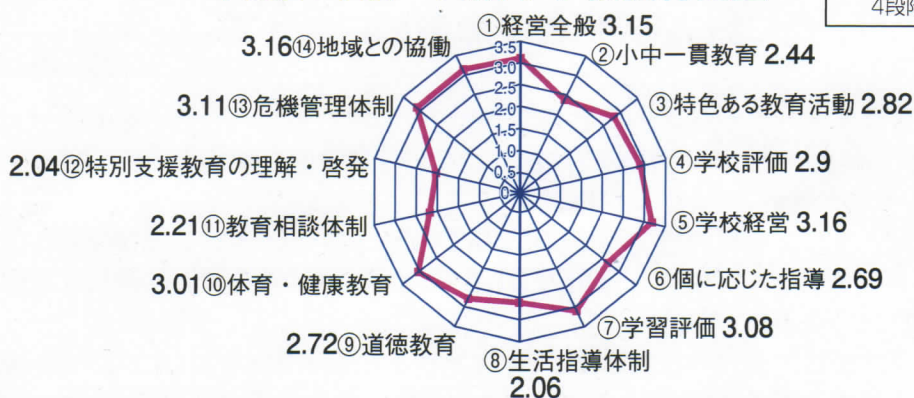


二人組でいろいろな動きに取り組む1年生の様子 (アリーナ)



## 平成24年度 天沼小学校教育調査

※グラフの数値は、アンケートの4段階評価の平均です。



### 考察

①学校経営方針⑤学級経営方針⑬引渡し訓練を含む危機管理体制⑭学校運営協議会や学校支援本部との協働経営については、地域のニーズにあった学校経営を念頭に5年間保護者・地域とともに進んできたことを高く評価していただいている結果となりました。さらに10周年を目指して一つ一つの取り組みに対し当事者として関わり、協働体制を築いてまいりたいと考えています。

⑥⑪⑫については、「通常学級での特別支援教育」についての情報提供が不十分という結果となりました。公立学校では、特別支援学級（こだま学級）だけが、特別支援教育を行っているわけではありません。「発達障害等を含めた特別支援の必要な児童の対応を通常学級で実施」しているのです。ADHD、LD、高機能自閉症等の診断がでなくても苦手な教科があったり、集中力が続かなかったり、人とのかわりが苦手だったりする児童は、どの学級にもいます。一斉授業では、教材や内容は同じでも一人一人の学びのスピードや捉え方の違いがあり、全員がねらいを達成するためには、工夫や配慮が必要になってきます。その個別の取り組みが「特別支援教育」です。

例えば、教室環境で、教具等の置く位置を決めていることや掲示物によって児童の気がそれないよう配置や大きさ等を配慮していること、授業で、学習の進め方について全体的な流れを提示することや一回の指示を一つに絞ったり、伝達事項を聴覚と視覚の両方で行ったりすること等です。

日常生活の中でもテレビの画面下にテロップが出て視覚への情報が加わることで分かりやすくなっている等、特別支援教育の考え方が取り入れられています。「障害のある人にとってわかりやすいこと」は「障害のない人にとってもわかりやすいこと」であるというユニバーサルデザインの発想です。個への対応については、週2日のスクールカウンセラーの相談業務やコーディネーターを中心としたケース会議を開き、校内体制で実施しています。今後は、もっとご理解ご利用していただけるように、お知らせできる機会を作ってまいります。

②小中一貫教育につきましては、昨年度の研究発表会以降、今年度も引き続き、3年生と中2とのマナー講習会、4年生と中学の華道部との体験教室、6年生の英語教員からの授業、6年生と中1との百人一首大会の継続実施や、年間6回実施した3校合同の教員研修会を行いました。今後も学校便りや保護者会等でお伝えできるよう努力してまいります。

## 特別支援学級・済美養護学校

## 連台展覧会

1月25日(金)～28日(月)の4日間、セシオン杉並にて、杉並区特別支援学級・済美養護学校の連台展覧会が開催されました。日頃の学習の成果を発表する場となっており、こだま学級の子どもたちも、この連台展覧会出展することを目標に、4月から制作に取り組んできた作品を出展しました。

25日(金)にはこだま学級全員で見学に行きました。自分たちががんばって取り組んできた作品が飾られ、多くの人たちに見てもらえることを実感した子どもたちは、充実感にあふれた表情を浮かべていました。また、他校の友達の作品を、「これ、すごいね」「やってみたい」と、興味をもちながら鑑賞する姿も見られました。



### ○窓を開けたら…

スタンドガラスの窓を開けると、こだま学級の子どもたちが登場！初めて挑戦した自画像は、自分の顔写真をよく見ながら、パーツの形や大きさ・位置に気をつけて、ていねいに描きました。

### ○ふわふわクッション

見ているだけで楽しくなる、形も色もさまざまなクッション。好きな形を型紙におこし、ていねいに不織布に写したものを切りぬいて作りました。少しでもずれるとうまく貼り合わせる事ができないので、慎重に取り組みました。



### ○一針一針に想いをこめて…

4月からこつこつと取り組んできた、スウェーデン刺繍やクロスステッチの作品です。何ヶ月もかけ、1つの作品を作り上げました。上級生はミシンにも挑戦し、自分の作品を手提げ袋やクッションに縫い付けました。